

福祉サービス評価結果(なかよし保育園)

共通項目編

I 福祉サービスの基本方針と組織		評価	評価の根拠・コメント
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
① 理念が明文化されている。	a	○保育園則に、「保育のねらい」として、保育サービスの特性を踏まえた理念が明文化されている。	
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	○施設のパンフレットや法人の広報誌に基本方針が明示されている。	
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a	○事業計画に基本方針として明示されており、月1～2回開催の職員会議にて基本方針を確認している。職員会議においてテーマを絞って検討協議を行い周知の徹底を図っている。	
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	○基本指針については入園時に保護者へ配布し説明しているが、一回のみの説明となっているため、周知状況を確認しながら継続的に理解を促し周知に努める取り組みが期待される。	
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期計画が策定されている。	c	○地域の保育を取り巻く環境変化の実態把握に努め、将来展望をふまえて、保育サービスの課題や問題点の解決に向けた中長期計画の策定が望まれる。	
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c		
(2) 計画が適切に策定されている。			
① 計画の策定が組織的に行われている。	b	○事業計画は園長、主任保育士、リーダー保育士の三者で検討作成されている。全職員の合議形式による作成の手順を定めるとともに、各計画の実施状況を評価し、保護者等の意見を取り入れる仕組みづくりが望まれる。 ○各計画は、クラスごとの年間目標を定めた上で、入園時に行事計画として保護者に周知されている。変更時には、便り等によりその内容が伝えられているが、保護者の理解が十分ではなく、わかりやすく継続的に説明する機会の確保が望まれる。	
② 計画が職員や利用者等に周知されている。	b		
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	○管理者は自らの役割と責任について職員へ説明を行っているが、文章化されておらず、周知が十分でない。 ○管理者はその社会的使命を理解しており、各種の研修や市・県の園長会議等に積極的に参加するなど、自己研鑽に努めている。	
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a		
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	b	○管理者は、外部講師による課題改善に向けた研修の実施や、各職員の意欲向上のための企画会議を新たに実施するなど職員の見解を取り組むための取り組みを行っているが、全職員が共通理解のうえで、改善項目に積極的に取り組む体制の構築が望まれる。 ○朝のつどいを廃止し、保護者の朝の送迎にきちんと対応できるように改善したり、人員配置、職場環境について職員会議の協議事項に計画的に取り上げるなど、経営業務の効率化、改善に向けての取り組みが始まっており、職員に対する周知を徹底し組織的な取り組みとして職員が一丸となって取り組めるよう更なる指導力の発揮が期待される。	
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b		

I 福祉サービスの基本方針と組織		評価	評価の根拠・コメント
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(2)管理者のリーダーシップが発揮されている。		a	○法人代表者と管理者は、それぞれの役割と責任を踏まえて協働した取り組みがなされ、代表者と管理者の役割と責任について明文化されている。
③ 管理者は、代表者とともに福祉サービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任を踏まえて、ともに取り組んでいる。			
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1)経営環境の変化等適切に対応している。			
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	○定期的に在園児の推移の把握はなされている。地域の実態や保育ニーズを踏まえた中長期計画により事業経営を組み立てていく取り組みが期待される。	
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b		
③ 外部監査が実施されている。	c	○社会保険労務士事務所へ財務管理・会計処理の委託を行っているが、今後は公認会計士等による外部監査を実施し、専門家の指導助言を受けながら経営上の課題分析・改善へ向けての取り組みが期待される。	
2 人材の確保・養成			
(1)人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	○社会福祉事業全体の動向について、把握されているが、子どもの数に応じて配置が変わるため、具体的計画的な人事管理とまでは至っていない。 ○施設が目指す保育サービスを実施するための配置基準を上回る人材を確保し保育サービスの質の向上に努め、サービスの質を確保するための具体的なプラン作成が望まれる。	
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b	○一昨年人事考課制度を導入し、毎年度職員の自己評価が行われている。本人が自己評価をし、管理者が確認する流れとなっているが、人材の能力開発、育成に活用されたり、個々の職員の意欲喚起、組織の活性化につながる取組みが期待される。	
(2)職員の就業状況について配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	○職員との個別面談や相談しやすいような組織体制を確立し、意向を定期的に把握し必要に応じて改善する仕組みづくりが求められる。 ○福利厚生に関する取り組みとしては、管理者が小グループでの食事を企画しているが、職員の多岐にわたるニーズに対応した福利厚生事業の充実に向けた取り組みが期待される。	
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	b	○職員の業務上の悩みやストレスを把握するため、管理者が年二回面談をしているが、職員がストレスを訴えない場合も含めて、ストレスがかりやすい仕事であることを理解し、相談窓口の複数化や組織内のみでなく他施設の職員や関係者と交流する等、職員自身がストレスを緩和していく機会を拓いていく取組みも期待される。	
③ 職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を取り入れている。	b		
(3)職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b	○各職員が興味がある分野、勉強したい分野の外部研修に参加することを基本姿勢とし、経験と能力に応じた研修への参加が行われている。毎月の職員会議では、3名ずつ良かった活動について報告することとしている。 ○年間の職員研修計画は立てられているが、職員別の計画は策定されていない。職員一人ひとりについての研修計画を策定し、個別の職員のサービス水準、技術等それぞれの段階に応じた研修が受けられるよう一層の充実を期待したい。	
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b		

II 組織の運営管理		評価	評価の根拠・コメント
2 人材の確保・養成			
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている		b	○毎月職員会議の中で、研修報告がなされているが、個別の教育、研修計画は作成されていない。研修成果の評価分析により、次の研修へ生かしていく仕組み作りが期待される。
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。			
(4) 実習生の受入れが適切に行われている			
① 実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b	○実習担当者は決められ受入れも積極的に行われてはいるが、受入れに関するマニュアルやプログラム等は準備されていない。実習効果を高めるためにも、保育園独自の実習プログラムの作成と、子どもや保護者に配慮した実習受入れのためのマニュアルなどの整備が期待される。	
② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	b		
3 安全管理		○各緊急時のマニュアルが整備されている。地域別、職員間の連絡網が整備され、職員に周知されている。 ○遊具等のチェックリストにより毎月確認をし、不具合や問題に気付いた場合はすぐに改善する仕組みがある。 ○不審者の侵入に備え、各教室に防犯ベルが設置され、さすまたが事務所に備えられている。警察署員からさすまたの使用法や、不審者への対応策についての研修も受けている。 ○感染予防の取り組みとして、手洗い時は、ペーパータオルを使用している。 ○災害時のマニュアルを作成し、備蓄品の整備、訓練等を行い、災害に備える体制の整備が期待される。	
(1) 利用者の安全を確保する取り組みが行われている			
① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a		
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a		
③ 災害時の利用者の安全確保の為の体制を整備している。	b		
4 地域との交流と連携		○地域の産業祭への出演、老人保健施設訪問、餅つきへの中学生の協力参加など行事における地域との交流が図られている。 ○老人クラブからの依頼で12月のお遊戯会前日の総練習に地域の高齢者を招待する試みが計画されており、今後の交流が期待できる。 ○地域との交流は行事を通じてのものであるため、日常的な交流が望まれる。 ○保育後の習字教室において、卒園時の参加もあり施設の地域への活用が見られる。 ○保育所が持つ社会資源を地域に開放提供する取り組みが今後期待される。	
(1) 地域との関係が適切に確保されている			
① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	b		
② 事業所(施設)が有する機能を地域に還元している。	b		
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	○年2回ほど園の要請による絵本の読み聞かせボランティアの受け入れはあるが、受け入れ担当者や受け入れのマニュアルも整備等はなされていない。	
(2) 関係機関との連携が確保されている			
① 必要な社会資源を明確にしている。	a	○関係団体や行政との連携は、適宜行われており、これらの情報は職員間で共有周知されている。 ○関係機関等の連絡先は各種マニュアルの中に示されている。	
② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a	○園長、主任、給食委員会等それぞれ関係機関との定期的な連絡会議の機会が確保され、具体的な事例討議も行われている。町内各小学校との交流も年2回行っている。	

II 組織の運営管理		評価	評価の根拠・コメント
4 地域との交流と連携			
(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている			
① 地域の福祉ニーズを把握している。		b	○佐賀市諸富支所の呼びかけで諸富町内の関係機関との会議を設け連携が図られており、幼保小連絡協議会に属し、保育・教育の連携が図られている。 ○卒園児を対象に小学校進級のための説明を地元の小学校と連携し実施しているが、小学校の行事に参加する取組は行われていない。地域のネットワークを有効に活用し、地域全体で積極的に取り組むことが望まれる。
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		b	
III 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている			
① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		b	○県内で開催される人権・同和研修へ職員全員が参加するようにされており、研修後は職員会で報告を行い職員全員で共通の理解と意識向上に努めている。基本方針として利用者を尊重した福祉サービスの提供についての基本姿勢を明示することが望まれる。
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。		b	○利用者の個人情報保護に関する規定は就業規則に示されているが、プライバシー保護に関する規程やマニュアル等の作成及び周知がなされていない。
(2) 利用者満足の向上に努めている			
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。		b	○年2回開催される保育参観において、保護者の意見をアンケートにより調査し保育サービスの改善に役立てている。 ○連絡帳により日常の保育サービスに関する保護者の意向の把握に努めている。 ○父母の会に園長らが出席し意見交換を行っている。 ○保護者の意向に配慮する姿勢を文書として明示し周知を図ることが期待される。 ○アンケートや意見箱、連絡帳等により把握した保護者の意向の結果は職員会議の折に検討されているが、継続した取り組みを進めるために意向の結果を分析・検討する定期的な検討会議等の仕組みの整備が求められる。
② 利用者満足の向上に向けた取組を行っている。		b	
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が整備されている。			
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。		a	○相談相手や相談方法を自由に選べる支援体制を整備し、それを保護者に分かりやすく周知することが期待される。 ○相談を受けるスペースが職員室内に設けられているが、プライバシーの保てる個室スペースの設置が求められる。 ○苦情解決の体制が整備されており、それを意見箱に掲示している。苦情解決の体制を保護者等に文書を配布し説明することが期待される。保護者等からの苦情については、文書通知により迅速に対応されているが、苦情を受けた際の記録や報告の手順、対応策の検討及び結果の公開等について規定したマニュアルの整備が求められる。
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。		b	
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。		a	
2 福祉サービスの質の確保			
(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている			
① 福祉サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		b	○理事長自らが第三者評価について学習した上で取り組まれている。今後の定期的な受審も計画されている。 ○事業毎に反省点を記録し次年度事業に活かす取り組みはされているが、保育サービスの改善課題を発見し対応するための自己評価を行い、評価結果を職員や利用者の参画のもと分析し、改善課題を明確化し、改善の取組を組織として定期的に行う体制の整備が求められる。
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		b	
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。		b	

III 適切な福祉サービスの実施		評価	評価の根拠・コメント
2 福祉サービスの質の確保			
(2) 個々の福祉サービスの標準的な実施方法が確立している			
① 個々の福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	c	○保育計画が作成され、目標を持って計画的に実施されているが、個々のサービスの標準的な実施方法が定められていない。	
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	○月1回の職員会議、日々のミーティング、引継ぎ時等に定期的に保育計画の確認をし協議はなされているが、定期的な見直しまでは行われていない。	
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている			
① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われている。	b	○園児一人ひとりの保育の状況は保育日誌により記録されている。 ○指導計画にそった保育の実施により子ども状況がどのように推移したのか具体的に記録されることが期待される。	
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	c	○個人情報の保護規程が整備されておらず、職員の守秘義務の範囲で個人情報の漏洩防止が管理されているのみである。 ○記録の保管、保存、廃棄に関する規程と情報の開示に関する規程の整備がなされていない。	
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	○定期的に開催される職員会議の折にケース会議が行われている。 ○保育の実施に当たり留意すべき事項や実施に伴う変化の状況などを定期開催以外の必要に応じ開催される会議において、職員間での情報の共有化を図る取り組みが期待される。	
3 福祉サービスの開始・継続			
(1) 福祉サービス提供の開始が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を提供している。	b	○「しおり」により保育園の実施する情報を提供している。見学の受け入れについては随時受け付けられており、利用希望者には入園希望児の担当予定職員が面談を行いサービスの説明が行われているが、体験入所や1日利用等への取り組みが期待される。 ○利用希望者に対する説明用の資料・様式が事務所に保管されており、面談時、職員は必要な資料・様式を取り出して説明を行うことになっている。	
② 福祉サービスの開始に当たり利用者等に説明し同意を得ている。	a		
(2) 福祉サービスの継続性に配慮した対応が行われている			
① 事業所(施設)の変更や家庭への移行などに当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	○年度中途での受け入れや転出については、その都度必要に応じて対応されている。 ○指導計画に沿った保育が継続して実施されるよう引継ぎや申し送りの手順、文書の内容などを定めておくことが期待される。	
4 福祉サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている			
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b	○入園時の面接や入園申込書により子どもの身体状況や生活状況等を把握し、児童票に記録されている。 ○子どもの生活状況の変更は、年度の更新時に提出される書類により把握されている。 ○アセスメントに関する手順及び定期的な見直しについて、組織として手順を定めることが期待される。 ○子どもの特性に応じた課題を明らかにし、課題解決のための目標と、目標達成に向けた具体的な対応策を定め保育に取り組むことが期待される。	
② 利用者の課題を個別の福祉サービス場面ごとに明示している。	b		
(2) 利用者に対する福祉サービス実施計画が策定されている			
① 福祉サービス実施計画を適切に策定している。	b	○年齢別に分けられたクラス毎に年間の指導計画が作成され、児童票に記録された子どもの特性に応じた保育計画が立てられている。 ○担当保育士が策定した計画を管理職を含めて合議する体制と、計画への保護者の同意を得る手順を定めて取り組む体制の整備が期待される。 ○計画の評価・見直しを行う時期の設定や記録の方法、計画変更の手順と関係職員への周知の方法等が書類として明示することが期待される。	
② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	c		